

第59回 小樽地区高校春季バドミントン選手権大会

兼第78回 国民体育大会小樽地区予選会(少年の部)新型コロナウイルス感染症対策

「競技・運営上の注意」

1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会が作成した「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」(令和5年3月10日改訂)および北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症対策「競技・運営上の注意」(令和5年3月10日改訂)に準じて、参加者および関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

- ①本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の徹底を図ることを前提に有観客試合での大会実施とする。会場内への出入りについては、特に制限しない。また、前年度義務づけた「健康状態観察シート」の提出の必要はありません。
- ②発熱者(37.5度以上)の入場を禁止する。なお、体調が良くない場合(発熱・咳・倦怠感などの症状がある)、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、自主的に入場を見合わせる。
- ③会場へのすべての入場者のマスク着用は、基本的に個人の判断とする。(ただし、状況に応じてマスクは着用すること)

3. 会場内で使用する物品について

- ①感染拡大予防として、各所で使用する物品(消毒薬、遮蔽用具、清掃用具等)を事前に確認・準備する。
- ②出入口付近や通路及びトイレや洗面所にアルコール等の手指消毒剤を設置する。

4. 大会会場内に関する確認事項

- ①換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。
- ②密を避けるため、組み合わせやタイムテーブルの掲示はしない。
- ③外履きは袋に入れ自分で管理する。
- ④更衣室の使用は、施設管理者の定める基準に従う。
- ⑤食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。
- ⑥待機場所および観戦については、指定された場所や座席または距離を開けて行い、座席の移動は極力控えること。(自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動も控える。)
- ⑦応援は声を出さずに拍手をもって行って下さい(手拍子禁止)。鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止します。
- ⑧選手・監督などのチーム関係者の観客の座席は、その関係する選手・チームの座席がある付近とする。

5. 大会本部

- ①大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ②関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。

6. 競技会場(競技スペース)及び競技関係用具類について

- ①バドミントンの大会は体育館内で行われるため、換気については特に配慮する。

- ②遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ③窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ④コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。
- ⑤コーチングシートは2席用意します。※チェンジエンス毎に持ち歩く必要はありません。
- ⑥コートのもップ掛けは、毎試合終了後に行う。
- ⑦毎試合終了後の審判用具（筆記用具・ボード・カゴ）を消毒する。
- ⑧毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

7. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ①選手は、試合時以外は必要に応じてマスクを着用する。
- ②主審、線審、得点係等は、状況に応じてマスクを着用する。（水分補給を促し、熱中症対策を講じる。）
- ③得点係は、手袋（ビニール）を必要に応じて使用する。（線審が得点係を兼ねる場合がある）
- ④選手同士や審判員との握手は行わない。
- ⑤シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを直接かご(水色)から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収かご(白色)に入れる。※定期的に競技役員が確認する。
- ⑥プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- ⑦汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑧ウェアの背面文字列表示については、明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と明確に区別できるウェアを着用すること。（ウェアの更衣をお願いする場合あり）
- ⑨敗者審判とします。ご協力お願いします。

8. 開閉会式・監督会議・公式練習について

- ①開会式は簡略化した形で行い、閉会式は行わない。表彰は随時行う。
- ②公式練習は通常どおり行う。

9. その他

- ①大きな声での長時間の会話は禁止する。
- ②適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ③ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。

◎新型コロナウイルス感染者数も減少傾向にあり、徐々に通常の大会に戻りつつありますが、しばらくの間は、一部防止対策を講じた上で運営して参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。